

発行所

山形県立寒河江工業
高等学校PTA

山形県寒河江市緑町148
電話(86)4278

第72号
平成28年2月3日



今年の思い出



今年度のPTA活動も残り僅かになりました。

四月二十九日に前会長より役職を引き継ぎ、あつと言う間の一年間でした。これまで無事職務を過ごす事が出来たのは学校関係者及びPTA会員の方々の暖かいご支援ご協力の賜物と深く感謝しております。しかし大変残念な事です。六月にPTA会員の鈴木利彦さんが永眠されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて今年度を振り返りますと、第四十四回村山地区高等学校PTA研修会が上山市体育文化センターにて行われました。お忙しい中ご参加下さいました山形地区の方々、各地区PTA関係者の方々、誠にありがとうございました。



PTA会長

熊坂 浩行

今年度を振り返って

その他のPTA活動として地区親子ボランティア活動と地区懇談会があり、親子ボランティア活動では生徒も真剣に参加し、地区懇談会では先生と保護者間で意見交換が出来、共に有意義な場でありました。

また寒河江神輿の祭典に、生徒会と神輿委員会を中心に教職員とPTA会員の方々を含め総勢二百五十名で参加させて頂きました。神輿会の方々にもご指導頂いた生徒達の神輿はTV放映もされ、寒河江のイメージキャラクターチエリンちゃんが夜空に舞う

姿は一層祭りを盛り上げ、寒河江工業高校の取り組みや生徒の活躍をよりPRする事が出来ました。

十月には寒工祭「のんびり寒工の森」主人公は寒工生？！」をテーマに生徒全員が一つになり、天候にも恵まれ各科のイベントや生徒達が企画した屋台等多くの方々にご来場頂き大いに賑わいました。またキャンパス制交流事業により左沢高校生徒会から「ぶどうの販売」に駆け付けて下さり、更なる盛り上がりにご協力頂きました。

地域に開かれた寒河江工業高校は、村山地区の技術者の

育成に努め優秀なエンジニアを管内外の地元企業に多数輩出して参りました。

しかし長年地域の建設業界と共に発展協力してきた土木科が、平成二十六年で閉科となり生徒数も減少し、教育活動の縮小を余儀なくされた事は大変残念でなりません。更に校舎は県内高校の中でも最も古く、老朽化が進んでおり、全面改築を地域の方々や後援会と協力して要望して参りたいと思

います。最後に先生方初めPTA関係の方々、保護者のご協力ご支援に深く感謝申し上げますと共に、これからのPTA活動、学校行事にご協力よろしくお願いいたします。

各専門部より

魅力ある…

総務部部長 庄司 文利

息子の入学と共に、地区の役員としてPTA活動に参加してきましたが、今年度は総務部長という大役に困惑しながらのスタートとなりました。そんな中、上山にて開催された「村山地区高等学校PTA研究会」に要請があり参加してきました。研究発表の中で、魅力あるPTA活動の推進は、魅力ある学校、魅力ある生徒の育成に繋がると力強く提言されていたことに感銘を受けてきたところです。

その後、「神輿の祭典」に参加する子ども達をサポートする機会がありました。地域の方々から声援を受け、子ども達と先生方が心一つにして神輿を担ぐ姿に熱いものがこみ上げてきたと同時に、寒工の魅力がここにあると感じました。

有意義な活動

育成部部長 大関 茂信

今年度も終盤を迎え、一年間の時の早さを感じています。さて、今年度も育成部では「朝の立ち番指導」と称して六月のマナーアップ期間中と十月の寒工祭の時に、先生、育成部保護者の方々や生徒会、皆に協力を頂きました。朝登校時の挨拶運動を行いました。殆どの生徒が元氣良く挨拶を返してくれましたが、元氣の無い生徒も視うけました。おはよ

三年間のご支援 ありがとうございました

三学年主任 今田 廣幸

平成二十七年第三学年保護者の皆様、(間もなくの)ご子息・ご令嬢のご卒業おめでとございます。今年度の三年生は、社会情勢の追い風も受け、早い時点での進路内定が多く、百十四名全員が、進路の見通しを持って年を越すことが出来ました。何よりすことが安心し、生徒たちの頑張りと保護者の皆様のご支援に感謝を申し上げます。

個人的には、赴任して直ぐの学年主任は荷が重くウロウロの連続でしたが、学級担任・学年担任の先生方に周りを固めてもらい、何とか三年間を乗り切ることができました。ありがとうございます。

入学早々は、授業態度・生活態度に問題があり、成績不

う、の挨拶は朝の起動力と、私は思っています。積極的に元氣な、挨拶を心掛けて頂きたいと思

又、各地区活動に於いては「親子ボランティア活動」が行われました。各地区の生徒保護者の方々が地域への感謝の気持ちで、様々な奉仕活動を行い、汗して下さいました大変、お疲れ様でした。

私は育成部に三年間在籍し今年度は、部長の任を受け活動してきました。

育成部保護者の皆様や先生方には、支援、御協力を頂き、とても有意義なPTA活動を経験することが出来、心より御感謝申し上げます。

一年間を振り返って

文教部部長 工藤 高洋
三年間文教部の活動に携わり微力ながら『輝くエンジニ

振者も多く、不安に感じることもありました。先生方の指導に何とかついて行き、学年が上がるごとに成長が目に見えてきたように思います。先生たちとの信頼関係が自信ともなり、三年時の体育祭・寒工祭では、立派に最上級生としての働きを果たしてくれました。先にふれた進路活動の成果もこの自信の表れと言えます。朝夕や、廊下ですれ違う際の挨拶も、どんどん良くなっています。

まだまだ甘えは止まらず、二学期末の成績で、学年平均点は三学年中最低、赤点保有者数は三学年中最高です。が、これも学生時代だから許されることとの自覚も充分だと思

います。私にしてみれば自慢の生徒たちです。どうぞ卒業後の活躍にご期待願います。三年間どうもありがとうございました。

「ア」の発行を手伝って頂きました。生徒たちの学校での様子も家庭に届け、また、少しでも話題を共有していただければいいなと思

う。新しい未来へ躍動するであろう本年度の卒業生も、自信と誇りをもって活躍してくれ

る事でしよう。伝統ある寒工高ではありま

保護者の皆様には、日ごろより本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本校は地域に根ざし、地域に開かれた学校を教育の柱にしています。地域の環境整備を行う「若草のみち」活動では、今年度から全校生徒参加の学校行事となり、より力を入れた取り組みとなりました。生徒たちは丁寧に花の苗を植え、除草や清掃を行い、見違えるように学校周辺の歩道がきれいになりました。また、「寒工祭」では、工業高校にふさわしい展示や来場者に喜んでもらえるアトラクションに知恵を絞って、昨年を上回る地域の皆さんの来場がありました。



校長

「輝くエンジニア」を ともに育むPTA

佐賀 仁

「みこしの祭典」では高校生らしい、元氣あふれる担ぎを披露して祭りを盛り上げてくれました。山形県内の高校が、部品を分担して製作し組み立てた3Dプリンタを活用した取り組みでは、目の不自由な小学生が触れて実感出来る教材として、「原爆ドーム」の模型を作り山形盲学校に送る取り組みもしています。

そのような生徒の活動に対して、PTAの皆様から、いつも温かいご協力をいただいております。「みこしの祭典」や「寒工祭」では、学校だけでは手が回らないところに対応していただいたり、保護者の方の作品を展示していただくなど、生徒と保護者の皆さんが一緒に活動して行事に取り組んでいただきました。十一の地区PTA組織が親子ボランティア活動やPTA懇談会など独自の取り組みを行っていることは、本校の特長となっています。このように親も子も教師も力を合わせて活動していく中で、生徒たちは将来、社会で必要な様々な力を身につけていくものと考えています。

また、生徒が日々の生活を健全に送るにあたって、ますますPTA活動への期待が増しております。携帯・スマホの使い方に関しても、ご家庭の協力が不可欠です。交通安全の意識を高め、安全な運動場などについても、PTAの皆様のお力をお借りし、学校・家庭・地域の連携の重要性は年々高まっております。PTA活動は単なる学校への奉仕ではなく、PTAの皆様ご自身の満足度の高い活動でなければならぬと思います。そのためにも、保護者と教職員、生徒が協同して活動し、教育の成果や学校生活の充実を実感していけるよう進めていかなければならないと考えています。

総務部

平成二十七年

学校評価アンケート

総務部部長 佐々木 裕章

会員の皆様からアンケートにご協力頂きありがとうございます。概要は、次の通りです。

○昨年度、④にいじめの項目を追加したが、データ比較等の観点から、前年度と同じ内容で実施した。

○回収率は、保護者が九四・七％、職員が一〇〇％。

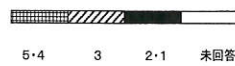
○前年度と比較して、全体的に保護者からの評価は高くなったが、職員による評価は下がった。

○今年度も、②のポイントが高く④が低かった。

今後、記述部分も含めて結果を分析し、来年度に活かしていきます。

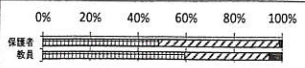
●設問に対する評価

- 5 満足(十分)
4 概ね満足(概ね十分)
3 普通
2 やや不満(やや不十分)
1 不満(不十分)



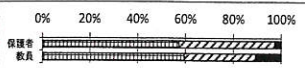
①全体PTA関係(総会・レクリエーション等の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	63	92	161	3	0	1	3.7	△0.1
教員	4	18	13	2	0	0	3.6	▼0.1



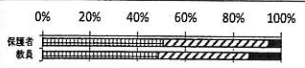
②地区PTA関係(地区懇談会・ボランティア等の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	76	107	128	7	1	1	3.8	0
教員	4	18	11	4	0	0	3.6	▼0.3



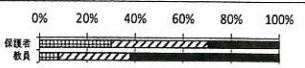
③学習指導(授業・定期考査・課題等の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	61	101	141	14	1	2	3.7	△0.2
教員	2	16	14	5	0	0	3.4	▼0.1



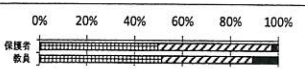
④お子さんの家庭学習への取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	38	58	129	69	24	2	3.1	△0.3
教員	1	2	11	18	5	0	2.4	▼0.1



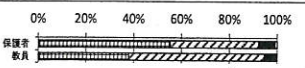
⑤生徒指導(身だしなみ・交通安全等の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	70	89	152	7	0	2	3.7	△0.1
教員	2	17	14	4	0	0	3.5	0



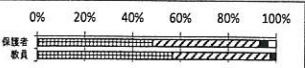
⑥部活動指導はどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	77	100	118	16	6	3	3.7	△0.2
教員	1	13	21	2	0	0	3.4	▼0.1



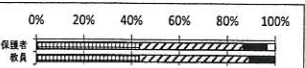
⑦進路指導(就職・進学・公務員等の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	70	84	143	10	1	11	3.7	△0.1
教員	2	19	15	1	0	0	3.6	▼0.2



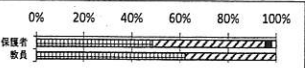
⑧お子さんの進路活動への取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	58	81	138	28	4	11	3.5	△0.1
教員	3	13	17	4	0	0	3.4	▼0.1



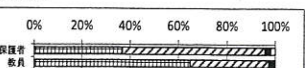
⑨保健活動(健康・安全・衛生等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	62	93	149	9	0	6	3.7	△0.1
教員	4	19	14	0	0	0	3.7	▼0.1



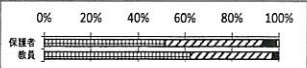
⑩個別指導・カウンセリング・特別支援教育等の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	54	64	188	8	0	6	3.5	0
教員	2	22	12	1	0	0	3.7	△0.2



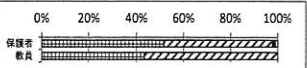
⑪各科(資格取得・ものづくり等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	68	97	133	19	0	3	3.7	△0.1
教員	4	19	13	1	0	0	3.7	▼0.2



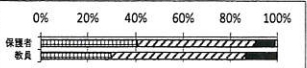
⑫各学年・各クラスの取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	71	94	148	4	0	3	3.7	△0.1
教員	1	15	21	0	0	0	3.5	0



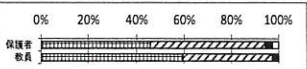
⑬学校からの様々な情報提供はどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	50	80	160	25	2	3	3.5	0
教員	1	10	21	5	0	0	3.2	▼0.3



⑭いじめの早期発見のための取り組みとその後の対応はどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	52	94	156	8	2	8	3.6	0
教員	6	16	14	1	0	0	3.7	▼0.2



ものづくり体験教室

情報技術科 寺西 亮

ものづくり体験教室は、私が参加して今年で七回目になります。毎年夏休みの暑い時に多くの小学生が参加して頂き、高校生の活躍の場になっています。



この体験教室は、生徒が技能検定（電子機器組立て）で学んだ技能・技術を地域に還元することを一つの目的としています。電子機器組立ての主な技術として、電子部品を基板につける半田付けという技術があります。

あります。この技術を教えながら小学生と電子工作を行います。また、本校で開催することも小学生には大きなインパクトであるようで、初めて見る工作機械だったり、高校生と一緒に使ってみたりすることで印象に残るようです。

今年、「イルミネーションの製作」という電子工作を行いました。定員を超える参加で、小学生、保護者の方にも大変喜んで頂きました。この体験教室を行うに当たって、課題研究の三年生が夏休みを返上で、基板の製作から説明



の段取りまで一生懸命に行ってくれました。技能検定を受験した二年生も精一杯にサポートをする様子もありました。生徒が教わる立場から教える立場に変わり、いつも以上に活き活きと活躍してくれたのも印象的でした。

現在、在校生の中にも体験教室に参加して、入学してくれた生徒もいます。この体験教室を通して、将来一緒に勉強できたり、工業の分野に興味を持ち工業技術の発展に貢献してくれる人材が育ってくれば幸いです。

多くの皆さんに支えられて

生徒指導部長 菅谷 明浩

平成二十七年度も、たくさんの方々のご協力により多くの行事を成功に終わらせることができました。六月には、中央工業団地の皆さんや町内会の方々と、そして今年は全校生徒・全教職員で「若草の道」の植栽活動ボランティアを行いました。地域の方々と交流しながらの作業は、生徒たちにとって貴重な心の交流の場となりました。九月には「寒河江神輿の祭典」に、生徒会、神輿委員会を中心に教職員・PTAの方々も含め総勢二五〇人態勢で参加しま



保健室より「下町ロケット」寒工編

養護教諭

室岡由美子

今秋流行ったドラマに『下町ロケット』がある。寒工に勤務していなければ決して観ることのなかったドラマの一つだろう。細かい作業を繰り返しながら世の中のために大きな仕事をしていくという点では、本校の生徒も引けを取らないと思っている。

今年の夏に開催された一日体験入学の時だった。日頃無口な三年生のS君が、中学生を前に専門的な内容をわかりやすく丁寧に実技入りで説明していた。しかも決して上からの目線ではなく、教諭す



した。練習では神輿会の方々にもご指導いただき、テレビ放映もあり、本校の取り組みをよりPRすることができました。十月の学校祭は、天気にも恵まれ、一般公開日にはこれまでになく、多くの方々にも来場していただき、イベントや出店も大いにぎわいました。また、左沢高校生徒会にも果樹販売で参加していただき、華を添えていただきました。この一年



寒工生一人一人が学校行事とともに成長してくれたように感じます。

一年間

前生徒会長 渡辺 海人



私が本校に入学して、もう三年が経とうとしています。

す。この三年間は、とても充実していて掛け替えの無い日々でした。

その中でも特に生徒会長として務めてきた一年間は、とても印象に残っています。

それまで私は、あまり人の前に立ち、リーダーシップを取る事がありませんでした。そんな私が、全校生を引っばって行けるのか心配でした。しかし、生徒会の仲間たちに支えてもらいながら全校集会や学校行事、ボランティア活動など多くの事をこなしてきました。特に、寒工祭の時には、生徒会役員全員が一丸となり最高の寒工祭をつくるために努力しました。意見が食い違ったりミスをしたりすることが多くありました。が、最後には、自分たちの納得のいく寒工祭をつくる事が出来てよかったと感じています。

最後に、この一年間、生徒会の仲間や、先生方と多くの思い出をつくり、いろいろな経験が出来ました。本当にありがとうございました。



我がまちのトピックス

親子ボランティア活動

朝日地区会長 白田 浩一

朝日地区のボランティア活動は、毎年特別養護老人ホームふれあい荘の草刈り及び清掃活動を行っております。

お父さん達は、草刈り機械でふれあい荘周辺の草を汗だくになりながら刈り、お母さんと生徒達は、施設内のガラス磨きを行いました。

ピカピカの窓ガラスを見て利用者のおじいちゃんおばあちゃんから「ありがとう、偉いね」と素敵な笑顔を頂きました。最後にふれあい荘さんから冷たいお茶をいただき無事に終わることができました。

後日、今年はふれあい荘創立二十周年という事もあり、九月二十日の記念式典に招待を受けました。長年のボランティア活動に対してという事で感謝状をいただきました。これも卒業生の皆さん地区PTAの皆さんの努力があったからこそだと思います。



これをも一つの区切りとして、これからも生徒と共に朝日地区PTA活動を続けていきたいと思っています。

中山地区会長 斎院 一裕

中山地区のボランティア活動は、毎年県野球場の清掃を行っております。今年

は、六月二十一日日曜日に、朝六時から、三班に分かれて球場のイス拭きを行いました。早朝まで雨が降り心配しましたが、三日後のプロ野球公式戦に向けて意欲的に活動を行って頂き、親子共々達成感を共有することができました。これからも、地区の皆さんのためになるボランティア活動を続けていきたいと思っています。



本番に強い生徒たち

二学年主任 菊池 敏宏

二学年として大きな行事が二つありました。一つは七月に行なったインターンシップです。来年の本番の前に、自分自身の将来について真剣に考え、実際にやってみることで更に深く考えさせることができればと、今年は全員から希望を出させそれを優先して割り振りました。



正直不安もありましたが、結果的には一人一人が目的を理解し真剣に取り組んでくれたと思います。九月二日には学年の報告会を実施し全体で共有することができました。事後のアンケート等を見ると企業の方からも好印象を持って頂いたようです。

二つ目は修学旅行です。業者選定から始まり企画・準備・実施と非常に長い時間と経費が掛かる一大イベントでしたが、保護者の皆さんのご理解とご協力もあり、無事に終わることができました。何より良かったと思います。そして旅行の目的である伝統的な文化財や最先端技術等の見



学により見聞を広めるとともに、集団生活を通して個人がどう行動すべきかという二つの目的が、しっかりと達成できたのではないかと思います。

二つとも生徒たちの「本番での強さ」を実感することができたものでした。

とは言え良いことだけではありません。修学旅行直前の中間テストでは赤点の数が増え、過去最多になってしまいました。学習面だけでなく様々な面で改善が必要な生徒がいることも事実です。「本番」だけでなく「普段の学校生活」も強くなつてほしいものです。この二つの行事を自分自身が変わるきっかけにできれば更に有意義なものになるでしょう。

まずは一八名全員が三年生に進級することを目標に一人一人が努力してほしいものです。そして「一番大切な本番」でも強さが発揮できるようなしつかりと準備をしてください。



地域にねぎした生徒会へ

新生徒会長 佐藤 哲也



私は、後期生徒会長を務めさせていたたく、電子機械科二年佐藤哲也です。宜しくお願ひします。

私が生徒会長に立候補したきっかけは、昨年一年間、生徒会常任委員として、活動に取り組み、先輩方が学校をよりよくするため、一生懸命に活動している姿を見て、自分も学校のために行動したいと思ったからです。

私が特に力を入れていきたいことは、ボランティア活動です。学校で年に一度、企業の方と若草のみち植栽活動があります。例年、生徒が関わるボランティアは、この活動だけでしたが、今年は共労バザールなど色々なボランティアに参加出来るように計画を練っています。

また、寒工祭やみこし祭などの学校や地域の行事を通して寒工生が保護や地域の方々とより一層つながりを持つて行けるよう、一工夫していきたいです。

これから一年間、地域にねぎした工業高校として、生徒一人一人が、自立と感謝の気持ちを忘れずに、何か少しでも地域のお役に立てるよう、全力で生徒会活動に取り組みで参ります。宜しくお願ひします。

「自主性」の向上

弓道部顧問 小野 光祥

昨年の顧問が二人とも代わり、コーチ不在という状況でスタートした四月、「弓道部は、先輩が後輩を指導し、部員主体で練習しています」という頼もしい言葉が部員から返ってきました。

そのような状況でたった二人の三年生は、最後まで粘り強く練習し、また後輩も指導してくれました。地区新人団体戦の優勝は、選手の実力はもちろんのこと、先輩方の教



進路指導部より

進路指導部部長 鈴木 正史

進路希望を実現された三年生の皆さん、進路達成おめでとうございます。これからの社会人としての活躍に大いに期待しています。

今年度の進路状況を報告いたします。三年の八月当初の進路志望状況は、六割が就職希望で、その内の九割が自宅からの通勤を希望していました。結果、内定割合もほぼ同

えのおかげと感謝しています。県新人大会、団体予選は全体三位の的中数で決勝トーナメントに進みながら、初戦で一中差で敗れベスト8。一本の重要性を再認識させられる結果となりました。

来年の最大の目標はインターハイ出場。しかし、団体戦メンバーだけではなく、部員全員の練習に対する考え、取り組み方のレベルを上げ、「自分たちで」目標達成に向かってほしいと思います。

卓球部顧問 加藤 稔

部活動(卓球部)の活動状況

卓球部顧問 加藤 稔

寒河江工業高校卓球部は三年生一名、二年生八名、一年生七名の十六名が在籍しています。現在は三年生が引退し、十五名の活動で活動をしています。チーム内では実力の差が大きくあり個々の目標は様々ですが、団体としては地区大会三位以上、県大会上位

じとなっています。公務員関係は、十名が希望しておりますが、希望が叶ったのは六名でした。進学については、県立産業技術短期大学校への合格十六名をはじめ、ほとんどの生徒が推薦入試で合格内定となっています。

今年度を振り返ってみて、昨年度以上の求人数の割には、一回目応募合格率があまりよくないという結果です。共通した不合格理由はコミュニケーション能力・基礎学力不

進出を目指して練習に取り組みます。夏と冬に校内合宿をし、基本的にはほとんど休みのない中で一生懸命練習に取り組んでいます。また、県内の強豪校を対象とした練習試合なども積極的にを行っています。



その結果、今年度の地区高校総体では団体戦三位に入賞することができました。地区新人戦では団体戦ベスト8でしたが、個人戦で機械科二年の前原悠真が三位に入賞することができました。

高校生活三年しかない中で、卓球を通して勝つことや努力することの喜びを学んでいます。先を見据えた日々の生活の大切さを感じています。進学については、学生数減等により入試方法も多様化し、希望者にとっては希望の叶いやすい状況となっています。

しかし、依然として人気のある進学先は難易度が高く、ある一定の学力を必要とします。今年度も多くの方々に支えられれば順調な進路内定となりました。関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

て欲しいと思います。悔いのない三年間にできるように、これからも精進していきます。

メカトロアイディアコンテストに出場して

工業研究部顧問 佐々木裕章

今年度は、工業研究部に機械科三年生の有志が加わり、二チームがロボット製作に挑戦しました。

今年の全国大会は三重県三分間で「名産品の真珠に見立てたテニスボールやバレーボールを回収し、細い塩ビパイプの上に多くのボールを裝飾する」という競技でした。この難問に、生徒達は夏休みも登校して、試作と実験を繰り返しながら自分達のロボットを組み上げていきました。

九月二十六日、村山産業高校でメカトロアイディアコンテストが開催されました。リモコン型ロボットが転落するなどのトラブルもあり、目標としていた三年連続全国大会出場を果たすことができませんでした。

でしたが、ロボット製作に挑戦したことで、ものづくりの難しさや達成感など貴重な体験ができました。



一学年を振り返って

一学年主任 松田 明浩

四月八日の入学式より「あつ」という間の十カ月間でした。昨年の今頃は？と考えてみると皆さんはまだ中学生という身分でした。しかし、今年は二年生に進級する年です。その時は長く感じて振り返れば時間の経過は早いものです。高校二年生という時期は本来じっくりと実力を蓄える学年です。「ちよつと、これぐらい」と気を緩めがちになりますが、個人差が大きくなるのもこの学年です。物事を正面から見据える姿勢と取り組む態度が肝心だと考えます。是非皆さんにもその様な姿勢と態度で高校生活を送ってほしいと思っています。さて、この一年を振り返ると色々な事がありました。百四名が無事に過ごしていることは大きな収穫です。何と言っても人は体が一番大切です。これからも心のバランスと身体バランスをもつと上手にコントロール出来るようにしていきたいでしょう。私たちの学年では「リスペクト respect」と「ことだま」という言葉をキーワードに学校生活を送ることを話してきました。その意味を常に考えながら生活していけばきっと上手にコントロール出来るはずですよ。